

研修テーマ	樹木診断（基礎編）	参加者	埼玉支部 19名、 他支部 一名
講師	樋口 裕仁（埼玉県支部会員） 秋元 信二（埼玉県支部会員）	場所	東京都東久留米市 ひばりヶ丘団地南公園
資料	樹木診断（基礎編）・診断用野帳・野帳記入例	記録	秋元 信二
目的	樹木の危険度診断の基礎的な研修		

研修内容

診断の流れや注意点について解説したあと、参加者による診断実習を実施。診断を行ないながらの質疑応答の他、よくある間違いや勘違いの例を踏まえて診断（特に危険度診断）についての基礎的な内容を研修。その他、精密診断機器（レジストグラフ・アーボソニック3D）のデモンストレーションや事前に測定したデータの解説を行なった。

樹木診断(基礎編)の内容

- I. 診断の心構え
 1. 診断は見落としのないように行なう
 2. 活力と危険性は別
 3. 分からないことがある場合の対応の仕方
- II. 診断の手順
 1. 部位の定義
 2. 診断の手順
- III. 失敗・勘違い
 1. 失敗・勘違いの例
 2. 対策



診断対象樹木を前に診断の流れや注意点を解説



レジストグラフ（PD-600）測定状況



アーボソニック3D測定状況